

GGGI 2017政治分野

日本の順位 123位 (144ヶ国中)

日本のスコア=0.078

1位(アイスランド)=0.750

年	指数	ランク	年	指数	ランク	年	指数	ランク
2017	0.078	123位/144ヶ国	2013	0.060	118位/136ヶ国	2009	0.065	110位/134ヶ国
2016	0.103	103位/144ヶ国	2012	0.070	110位/135ヶ国	2008	0.065	107位/130ヶ国
2015	0.103	104位/145ヶ国	2011	0.072	101位/135ヶ国	2007	0.067	94位/128ヶ国
2014	0.058	129位/142ヶ国	2010	0.072	101位/134ヶ国	2006	0.067	83位/115ヶ国

政治の分野

順位=123位(144中) スコア(0.078)

• 計算の根拠 …1月現在で集計(列国議会同盟の資料等)

• 女性議員数の比率(衆議院)

129位 0.102(スコア) 9.3(f)/ 90.7(m) 0.279(世界の平均スコア)

• 内閣での女性閣僚の比率

88位 0.188(スコア) 15.8(f)/ 84.2(m) 0.209(世界の平均スコア)

• 過去50年の女性元首の在任期間

69位 0.000(スコア) 0.0(f)/50.0(m) 0.200(世界の平均スコア)

日本のスコアは0.078 世界の平均は0.227

上位の途上国

下位を占めるイスラム国

上位20カ国		
順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.75
2	ニカラグア	0.575
3	ルワンダ	0.539
4	ノルウェー	0.53
5	フィンランド	0.519
6	アイルランド	0.493
7	バングラデシュ	0.493
8	スエーデン	0.486
9	フランス	0.453
10	ドイツ	0.447
11	スロバニア	0.44
12	ニュージーランド	0.43
13	フィリピン	0.416
14	ボリビア	0.408
15	インド	0.407
16	デンマーク	0.406
17	イギリス	0.404
18	南アフリカ	0.399
19	キューバ	0.382
20	ラトビア	0.756

10位ごとの一覧		
順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.75
10	ドイツ	0.447
20	カナダ	0.361
30	ウガンダ	0.305
40	ブルンジ	0.255
50	エチオピア	0.223
60	チモール	0.205
70	ケープウェルデ	0.178
80	ネパール	0.155
90	韓国	0.134
100	モロッコ	0.117
110	ブラジル	0.101
120	チャド	0.087
123	日本	0.078
130	シリア	0.063
140	ブルネイ	0.031
144	イエーメン	0.014

下位20カ国		
順位	国名	スコア
124	サウジアラビア	0.077
125	ブルキナファソ	0.075
126	ヨルダン	0.075
127	タイ	0.072
128	マルディベス	0.072
129	ベニン	0.065
130	シリア	0.063
131	アゼルバイジャン	0.063
132	ミャンマー	0.059
133	マレーシア	0.058
134	ブータン	0.056
135	ナイジェリア	0.052
136	イラン	0.046
137	バーレーン	0.037
138	ハンガリー	0.035
139	ベリーズ	0.032
140	ブルネイ	0.031
141	クエート	0.027
142	レバノン	0.019
143	カタール	0.016
144	イエーメン	0.014

東アジア・太平洋地域でも日本の政治は・・・

- オーストラリア ……49
- **ブルネイ ……140**
- カンボジア ……106
- 中国 ……77
- フィジー ……105
- インドネシア ……63
- **日本 ……123**
- 韓国 ……90
- ラオス ……87
- **マレーシア ……133**
- モンゴリア ……107
- **ミャンマー ……132**
- ニュージーランド ……12
- フィリピン ……13
- シンガポール ……101
- **タイ ……127**
- チモール ……60
- ベトナム ……59
- 以上18カ国

- 政治の分野で、日本がすべきこと。まず、どうしようもなく世界の動きから遅れている深刻さを認識すること。
- 女性議員数が少ないことを確認すること。GGGIは、衆議院が対象だが、その背景には、参議院・地方議会を含むすべての議会に女性議員が少ないことがある。
- 世界経済フォーラムはその分析の中で、政治におけるにおける男女格差を指摘すると同時に、教育分野との関連も指摘している
- 政治のスコアを改善するために、国会議員を増やすという最優先課題について、BPWのメンバーでクオータ制を推進する会の役員でもある川橋さんから・・・

～女性は微増 問われる各党の本気度～

第48回衆議院議員選挙結果

女性候補者比率は過去最高であったにもかかわらず、当選者数及び当選者の女性比率は微増にとどまった。

とくに、総議席の3分の2を占め、女性活躍を掲げているはずの政権与党自民党が振るわず、自民党が日本全体の水準を引き下げている。

公約にクォータ制導入を掲げた立憲民主党に、女性擁立の努力の跡が見られた。

公示前、全国フェミニスト議員連盟が実施した政党アンケートに対し、全ての政党が「政治分野における男女共同参画推進法」制定に最優先課題として取り組むと回答。Qの会としては、各党の法制定に対する本気度を問いたい。

2017衆議院議員選挙政党別女性候補者・当選者 & 世界ランク比較 (193カ国中)

	候補者			当選者			相当する 世界ランク	
	計	女性	比率	計	女性	比率		
自民	332	25	7.5%	284	22	7.7%	171.5位	
立民	78	19	24.4%	55	12	21.8%	86位	
希望	235	47	20.0%	50	2	4.0%	182.5位	
公明	53	5	9.4%	29	4	13.8%	135位	
共産	243	58	23.9%	12	3	25.0%	71位	
維新	52	4	7.7%	11	1	9.1%	167.5位	
社民	21	4	19.0%	2	0	0.0%	186位	
こころ	2	1	50.0%	0	0	—	—	
諸派	91	31	34.1%	0	0	—	—	
無所属	73	15	20.5%	22	3	13.6%	135.5位	
計	1,180	209	17.7%	465	47	10.1%	161位	
				改選前	475	44	9.26%	165位

世界ランクのデータは列国議会同盟2017.9現在。「.5」の表示は、中間の位置を示す。

日本は地方議会における女性議員数も、 著しく少ない。【日本の特色】

地方議会女性議員比率	都道府県議会	9.8%
	市区議会	14.4%
	町村議会	9.7%
	合計	12.5%

(総務省調査2016.12)

諸外国では国会よりも地方議会の方の女性議員比率が高くなっています。

しかし日本では都市部では高まってきても郡部で低くなっており、日本の町村議会の約3割が女性議員ゼロです。

身近な住民政治に当事者の
声があがらない

第1線自治体議会に女性
代表制(性)が見えない

女性たちの率直な反応
一国会議員は遠い存在、
身近な地方政治にこそ！

国会議員候補の人材源
が増えない

Qの会と超党派議連

Qの会の発足(2012.6)

議連の発足(2015.2)

超党派「政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟」(会長:中川正春衆議院議員、幹事長:野田聖子衆議院議員)

野党案提出(2016.5)

与党案提出(2016.12)

与野党法案一本化合意(2017.2)

モリ・加計問題から衆・内閣委員会で審議未了、持ち越し(2017.5)

冒頭解散により、成立目前で廃案(2017.9)

議連の再構築と法案早期提出を、Qの会要望(2017.10)

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律案 概要

※2017年3月28日開催議連総会資料

一 目的 (第1条)

政治分野における男女共同参画を効果的かつ積極的推進し、もって男女が共同して参画する民主政治の発展に寄与する。

二 基本原則 (第2条)

1. 衆議院、参議院及び地方議会の選挙において、政党等の政治活動の自由を確保しつつ、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指して行われるものとする。
2. 男女がその個性と能力を十分に発揮できるようにする。
3. 家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となるようにする。

三 責務等 (第3条及び第4条)

国及び地方公共団体の責務 (第3条)

政党等の政治活動の自由及び選挙の公正を確保しつつ、必要な施策を策定し、及び実施するよう努めるものとする。

政党その他の政治団体の努力 (第4条)

当該政党等に所属する男女のそれぞれの公職の候補者の数について目標を定める等、自主的に取り組むよう努めるものとする。

四 基本的施策 (第5条～第8条)

1. 実態の調査及び情報の収集等 (第5条)
2. 啓発活動 (第6条)
3. 環境の整備 (第7条)
4. 人材の育成 (第8条)

五 法制上の措置等 (第9条)

実態の調査及び情報の収集等の結果を踏まえ、必要があると認めるときは、必要な法制上又は財政上の措置等を講ずるものとする。

基本原則にのっとり

草の根から世論を起こす... 次期通常国会は崖っぷち正念場

女性議員の少なさを知らせる

女性議員が少ないことの問題を知らせる

なぜ女性議員が少ないのか、障壁の存在を知らせる

女性議員が増えるとどのような変化がうまれるか知らせる

—11/18赤松政経塾三浦まり教授

「政治から身を引かない」

さあ「政治の話をしよう」

—今年1月公開された、100年前の英女性参政権運動の映画

